

園 だ よ り 11 月 号

Y M C A 保育園ねがい
2023 年 11 月 7 日発行

「地はお造りになったものに満ちている。」 詩編 104 篇 24 節

秋の一日、ファミリースポーツディを開催しました。参加していただいたみなさまに感謝を申し上げます。残念なことに集えなかったみなさまには、これからの計画でぜひ一緒に過ごせたらと心から願っております。

園では行事を行う時に日頃の子どもの様子から、その時にご家族と楽しく行えるプランを立てています。小さい子どもたちにとっては好きな遊び、大きな子どもたちとは話し合い、今年も大人といっしょに行う参加型へと変更しました。コロナ禍で大勢が一度に集まることができなくなり、行事の願いを考え直しました。練習の成果を披露する劇場型から深化していったことで職員にとっても大きな学びの機会となっています。

旧約聖書には神様がすべての物を無からお造りになり、すべてのものを見て「極めて良かった。」と書かれています。その中でご自分の姿をかたどり最も愛されたのが「人」で、そこから「自分自身を愛するように隣人を愛しなさい。」という教えに至ります。園では、「愛する」ための方法を次の様に考え、保育参加でもお伝えしています。

「①自分が大切にされ、愛されている事を経験する ②愛されている自分を知り、自分を愛する ③自分と他者を大切にする」

順番は逆にはならないし、成長すればできるわけでもないと思います。お友達を思いやることができる0才児もいるからです。

そして、与えられた命をその人なりに輝かして生きていく力が育まれることを願っています。それは「生活」と「精神」「経済」の自立ではないでしょうか。大人になった時に、ある程度自分の力で身の回りの生活と自分の心をコントロールでき、困った時に助けを求めることができれば自分なりの自律ができると考えています。そして、楽しい生活の中で経済的な報酬がえられる道が拓けたら、何よりのご褒美だと思っています。

園長 今井 世都

